

横浜市神奈川公会堂
指定管理者選定委員会

第 2 期指定管理者選定結果報告書

平成 28 年 8 月

1 経緯

横浜市神奈川公会堂の第2期指定管理者の選定にあたり、横浜市神奈川公会堂指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、応募者から提出された応募書類の内容審査や面接審査（プレゼンテーション）を行いました。

このたび、選定委員会による審査が終了し、指定候補者を選定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

2 選定委員会 委員

委員長 柳澤 直人（神奈川県青少年指導員協議会 会長）

委員 井手 美由樹（中小企業診断士）

加藤 祥子（神奈川県スポーツ推進委員連絡協議会 監事/神奈川県民生委員児童委員協議会 民生委員・児童委員）

草加 叔也（有限会社空間創造研究所 代表）

松本 安生（神奈川大学人間科学部 教授）

3 指定候補者 選定の経過

項目	日程
第1回神奈川公会堂指定管理者選定委員会 （公募要項の検討及びスケジュールの確定等）	平成28年4月27日（水）
公募説明会・現地見学会（参加14団体）	平成28年5月30日（月）
公募要項の配布期間	平成28年5月24日（火） ～7月12日（火）
公募に関する質問受付（36件受付）	平成28年5月30日（月） ～6月6日（月）
公募に関する質問回答	平成28年6月16日（木）
提案書の受付（2団体）	平成28年7月11日（月） ～7月12日（火）
第2回神奈川公会堂指定管理者選定委員会 （面接審査及び指定候補者選定審議）	平成28年8月18日（木）

4 選定にあたっての考え方

公募要項等において定めた評価基準項目に従って審査し、評価点順に指定候補者及び次点候補者を選定しました。

なお、評点は各委員165点満点中、最低基準点を委員平均99点以上としました。

5 応募者の制限の確認

公募要項に定める「応募者の資格」「欠格事項」「応募者の失格」について、該当のないことを確認しました。

【公募要項3ページ 7 応募に関する事項】

6 応募団体（2団体：受付順）

(1) 神奈川県民協働パートナーズ

(2) こらぼネットかながわ・ジャパントータルサービス共同事業体

7 審査結果

順位	団体名	委員平均点	評点	
指定候補者	こらぼネットかながわ・ジャパン トータルサービス共同事業体	139.80 点	委員A	140 点
			委員B	115 点
			委員C	149 点
			委員D	130 点
			委員E	165 点
次点候補者	神奈川県民協働パートナーズ	126.60 点	委員A	118 点
			委員B	100 点
			委員C	134 点
			委員D	123 点
			委員E	158 点

8 審査講評

応募があった2団体について選定委員会において審査を行った結果、指定候補者及び次点候補者を次のとおり選定しました。

- (1) 指定候補者：こらぼネットかながわ・ジャパントータルサービス共同事業体
代表団体 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ
理事長 関口 力

選 定 理 由：神奈川区の地域特性に精通していて、他施設の実績もあり地域に根付いた団体であるとの印象を受けた。また、現指定管理者として管理運営してきた中で、稼働率が年々向上していることなどから、今後も安定的な運営ができると判断した。こうしたことを評価して指定候補者として選定した。なお、提案にある、開かれた公会堂に向けた、さまざまな施策は確実に実現してもらいたい。

- (2) 次点候補者：神奈川県民協働パートナーズ
代表団体 株式会社シグマコミュニケーションズ
代表取締役社長 村上 雅弘

選 定 理 由：提案の内容や他施設の運営実績から組織力・専門性は高いと感じる。また、プレゼンテーションでは意欲が感じられ、利用料金に関する提言、企業としての環境配慮への取組姿勢も評価できる。一方、提案書に目新しいワードが並んでいるが、この提案によって、公会堂がどう変わるのかといった、具体性に欠けていて、実態を伴っていないという印象を受けた。こうしたことから、次点候補者として選定した。